

# 栗原市地震防災マップ

## 揺れやすさマップ 高清水・瀬峰地区

### 想定する4つの地震のうち最大の震度の場合

○この揺れやすさマップは、地域に影響のある海溝型の地震(宮城県沖地震(単独型)(運動型))、活断層の地震(長町-利府断層による地震)、どこでも起こりうる直下の地震(マグニチュード 6.9)について、それぞれ震度分布を作成し、100メートルメッシュ毎にその最大となる震度を表現しています。

○このマップは、地域で起こりうる可能性のある最大の震度の目安であり、住民の皆様方の防災活動に役立てていただくためのものです。全域が同時にこの震度になることを表現しているものではありません。

#### ■マップの作成手順

このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で、震度(揺れの大きさ)を予測しています。

○地域に影響の大きいと考えられる地震(活断層による地震(長町-利府断層による地震)、海溝型地震(宮城県沖地震(単独型)(運動型)、どこでも起こりうる直下の地震)を選び、震源となる断層の規模や高さ、断層などの情報を設定します。

○それぞれの地震について、地震の規模や震源となる断層までの距離などにより揺れの強さが変わる性質を用いて、「地表面付近(地下の基底)での揺れの大きさ」を計算します。

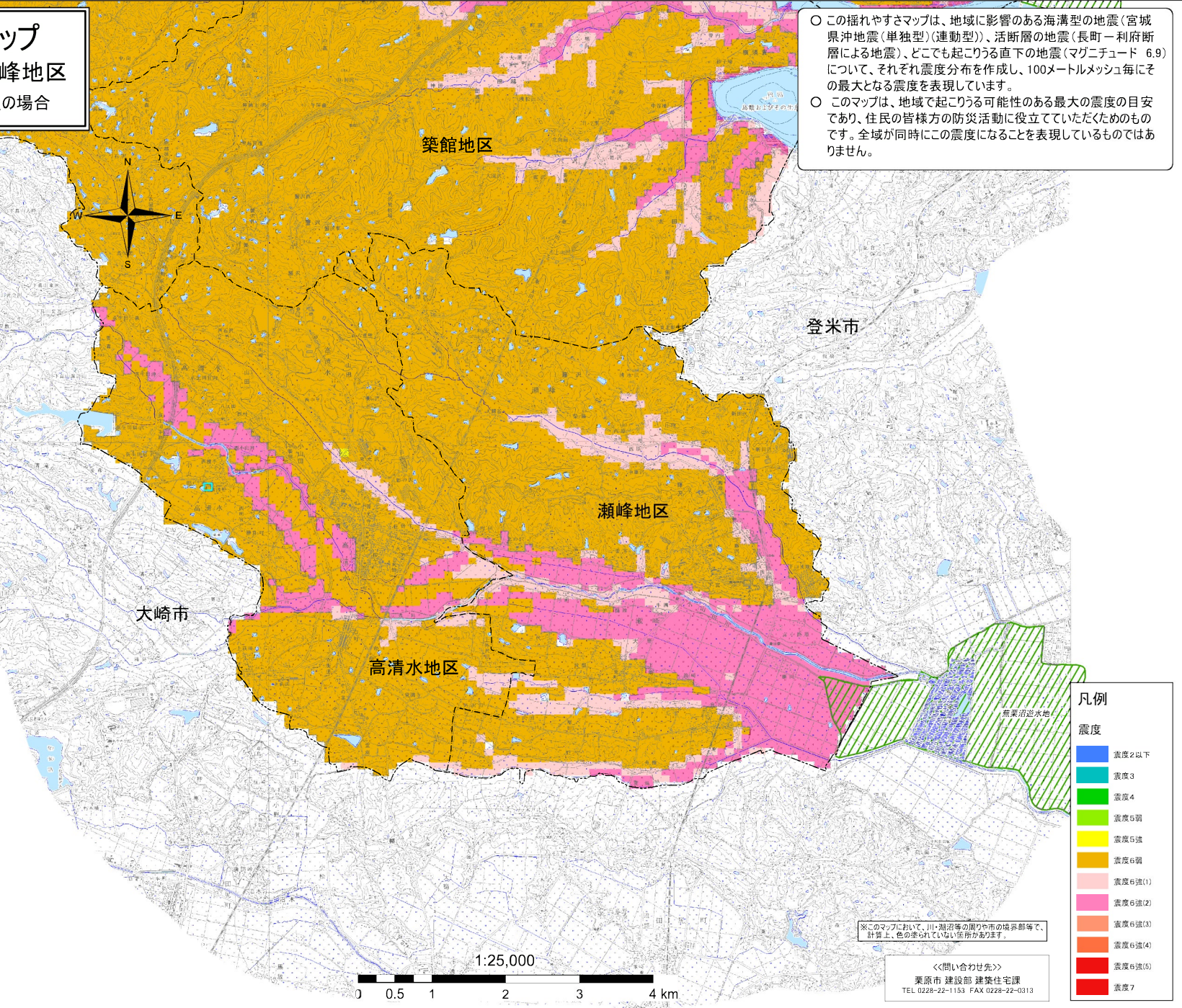
○体に感じる「地表での揺れの大きさ(震度)」は、「地表面付近での揺れの大きさ」に加え、「地表の地質(揺れやすさ)を加味することで求めることができます。一般に、元の地質が軟らかいほど、揺れが大きいのが層に堆積していることほど、地表では大きな揺れとなる性質がありますので、「震度が大きくなります」。

○このマップでは、全域を100mメッシュに分割し、メッシュごとに地表での震度を詳細に表わしています。

#### ■震度の大きさ=震度とはなに？

地震が起こると、ある場所での揺れの程度を表すのが震度です。震度の決め方は国によって異なり、わが国では気象庁が定めた気象庁震度によって震度を表しています。気象庁は震度の7段階で分類しています。この震度の1段階は震源から震度1の範囲を想定し、10段階に設計しました。また、気象庁が発表する震度は、気象庁の職員が観測した中での最大震度と震度1未満と判断されていますが、震度は震度を観測するための「震度計」の設置状況により、この震度計の設置(計測震度)が異なります。これにより震度を観測できなくなっています。

震度階級	人間	屋内の状況	屋外の状況	木造建築物
0	人が何もしない。			
1	震動を感じる。震動を感じる。			
2	震動を感じる。震動を感じる。震動を感じる。			
3	震動を感じる。震動を感じる。震動を感じる。			
4	震動を感じる。震動を感じる。震動を感じる。			
5弱	震動を感じる。震動を感じる。震動を感じる。			
5強	震動を感じる。震動を感じる。震動を感じる。			
6弱	震動を感じる。震動を感じる。震動を感じる。			
6強	震動を感じる。震動を感じる。震動を感じる。			
7	震動を感じる。震動を感じる。震動を感じる。			



#### 凡例

##### 震度

- 震度2以下
- 震度3
- 震度4
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強(1)
- 震度6強(2)
- 震度6強(3)
- 震度6強(4)
- 震度6強(5)
- 震度7

※このマップにおいて、川・湖沼等の周りや市の境界部等で、計算上、色の塗られていない箇所があります。

お問い合わせ先  
 栗原市 建設部 建築住宅課  
 TEL 0228-22-1153 FAX 0228-22-0313

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50300(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平19総研-第990号)